



低圧耐火ケーブル (EM-SH-C®) — 平型・溝付品 —

Low Voltage Fire Proof Cables – Flat type • With Groove –

1. 概要

低圧耐火ケーブルは被覆材料にポリオレフィン系の材料を使用しており、被覆にビニルを使用したケーブルと比較して硬い傾向があります。そのため、端末処理時にカッターや電工ナイフの刃を入れる際、力を入れ過ぎて内部絶縁体を傷付けてしまい、絶縁不良となるケースが見受けられるなど、被覆の除去性が劣っておりました。

そこで富士電線(株)は被覆の製造治具を改良し、低圧耐火ケーブル平型の線心間に溝を設けることでその問題を解決した製品を開発し、2023年にリリースを予定しております。被覆中心部の溝がガイドの役割を果たし、刃の位置が定めやすくなることで内部絶縁体を傷付けずに、かつ小さな力での被覆除去が可能となります。また副次効果として樹脂使用量が削減され、従来品と比較して2心では平均4%、3心では平均5%軽量化しております。さらに同一の荷重を加えた際のたわみ量が従来品と比較して約3.3%向上し、ケーブルが曲げやすくなったことによる延線時の施工性向上が確認されております。

本ケーブル構造は2015年に特許出願し、2017年に権利を取得しております*1。

2. 用途

従来の平型耐火ケーブルのシースに溝を設けた製品です。電気特性、耐火特性、表面印刷などに従来品からの変更はなく、同様の用途に使用いただけます。

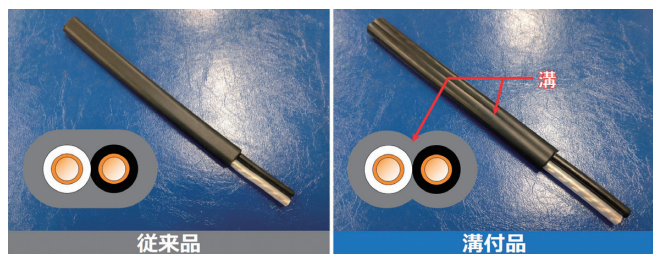


図1 製品比較

3. 特長

- ・従来品と比較し2心では平均4%、3心では平均5%製品重量が軽量化されています。

- ・溝に沿ってカッターや電工ナイフの刃を入れることで内部絶縁体を傷付けることなく、少ない力での端末処理が可能となります。従来通りストリッパによる端末処理も可能です。



図2 端末処理性の向上

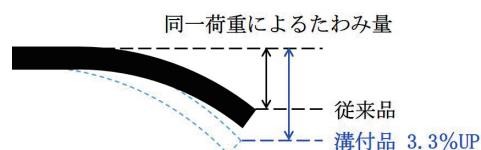


図3 同一荷重を加えた際のたわみ量向上

表1 ケーブル仕様比較

項目	EM-SH-C® 2C × 2.0 mm	
	従来品	溝付品
サイズ×心数	7 × 11	←
仕上外径 (約 mm)	7 × 11	←
概算質量 (約 kg/km)	127	122 (▲5)

*1 岡崎英明, 他: 耐火ケーブル, 特許第6092282号
*2 「EM-SH-C」は富士電線株式会社の登録商標です。

問合せ先: 〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目18番13号
(内神田中央ビル2階)

富士電線(株) 営業本部 営業企画部
電話(03)5217-0911 FAX(03)5217-0920